



島尻のウティダ石

指定名称 しまじり 島尻のウティダ石 いし
(町指定史跡)

所在地 久米島町字島尻クサト原220

指定年月日 昭和47年9月2日
(旧仲里村指定)

所有者 久米島町

島尻のウティダ石には由来などは伝わってなく、現在のところ詳細は不明である。比屋定にあるウティダ石（県指定史跡）のように誰が、何をしたという伝承も全くない。発見場所は字島尻の根所といわれる島尻の比屋の家の近くであった。石のある丘は、以前は観測を妨げる遮蔽物などなく、見晴らしのきく場所であったが、現在は草木が生い茂っている。

石の真上には日の出方向に並んで刻まれた二筋の線があって、日の出の観

測に使われたのではないかと

といわれていた。残念なことに、石の大半はすでに割取られている。

残欠のウティダ石は、高さが約1.2m、長径が約1.5m、短径が約45cmの大きさである。

